

# 平成29年度入学生用カリキュラムマップ

【教育学科】

【コース共通】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2							
17UEDC1001	初期演習	1	初年次学生が、学院の教育理念と歴史について学び、本学学生としての誇りと自覚を持ち、大学生にふさわしい主体性・論理性・実行力を培い、学部・学科の教育目標を達成するように導くことである。	(1) 「立学の精神」、それに基づく「教育目標」、「教育推進宣言」、学院の歴史について理解する。 (2) 主体的に学び、実践する姿勢を身につけ、積極的に意見を発表・伝達するために、本を読み、自ら考え、文章に表現するなどの基礎的な能力を養う。 (3) 学生相互や担任教員との豊かで円滑な人間関係の基礎を築く。 (4) 女性として社会で活躍するための、キャリア形成の基礎を身につける。				◎					○	
17UEDC1101	日本国憲法	1	教職をめざす人の基礎的な素養として、日本国憲法の基本的な理念とその表現である主な条文について理解を深める。	(1) 憲法と法律の違いを説明できる。 (2) 日本国憲法についての基本的知識をもつ。 (3) 社会の諸事象を日本国憲法に照らして考えることができる。	◎									
17UEDC1181	英語 I	1	小学校での「外国語活動」や英語の教科化に対応するだけでなく、広く社会で英語が使われることに鑑み、英語の4つの技能を有機的に関連づけて、しっかりした英語運用能力を身につけることを目的とする。	(1) 基礎的な文法事項を再確認して、話したり書いたり読んだりするときに活用できる。 (2) 語彙を増やしなが、英文の内容を正しく読み取ることができる。 (3) 英語を聞いて理解し、受け答えや自分の意見を述べるができる。	◎		○							
17UEDC1103	情報リテラシー	1	大学教育に適応し、安全で適切な情報活用ができるための基礎的な情報リテラシーを身につける。コンピュータやネットワークの知識、情報モラルの知識と実践力を育成するとともにオフィスソフトの活用をもとにしたレポート作成の基礎的な技能を確実に習得する。	(1) 本学のシステムやオンラインサービスを知り、使いこなすことができる。 (2) 基礎的なコンピュータやネットワークに関する知識、情報モラルに関する知識をもち、場面に応じて、安全にコンピュータやネットワークを活用することができる。 (3) レポートを作成するために必要なソフトの活用技能を習得し、課題に応じた簡単なレポート作成ができる。	○		◎							
17UEDC1105	体育 I (講義)	1	体育・スポーツについての講義と体験的活動を通して、教育者・保育者に求められる健康と安全についての知識と技能を身につける。	(1) 安全対策の理論的背景について理解する。 (2) 水泳を安全に実践することができる。 (3) 教職に対応できる技能の習熟と安全で効果的な指導法を習得する。	◎		○							
17UEDC1211	教科図画工作	1	児童・幼児の発達段階と造形表現の関連についての理解と造形表現の体験的活動を通して、初等教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 製作の道具の使用方法や材料の特性について理解する。 (2) 課題製作において、テーマに沿った効果的な自己表現をすることができる。			◎							
17UEDC1221	教職への道	1	現代社会における教職の意義や、子どもの成長発達に関わる教師の役割、実際の学校・教育現場のようす、子ども期の体験の意味などについて学びを深めると同時に、教職に就くための意欲を高め教師としての責任を自覚する。	(1) 現代社会における教職の意義や、子どもの成長発達に関わる教師の役割を理解している。 (2) 実際の学校現場のようすや、授業を始めとする教師の仕事、現代教育の課題を理解している。 (3) 子ども期の体験の意味を捉える視点を持ち、子どもの体験に向きあう姿勢を備えている。 (4) 教職に就くための高い意欲と課題意識を持ち、教育に携わる責任を自覚している。			◎						○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
17UEDC1223	保育者論	1	幼稚園や保育所・施設等で保育を行う者として、あるべき姿や倫理観、使命感、専門性を理解し、保育現場に臨む為の自己課題を明確にするとともに、学習に取り組むことをである。	(1) 保育者の役割と倫理について理解する。 (2) 保育者の制度的な位置づけを理解する。 (3) 保育者の専門性について考察し、理解する。 (4) 保育者の協働について理解する。 (5) 保育者の専門職的成長について理解する。 (6) 保育者を目指す者としての学習のあり方を見直し、目的意識を持つとともに、自己課題を明確にする。								◎	
17UEDC1225	教育原論	1	以下1～5の諸点について学び、理解を深める。 1. 教育という営みの意義・理念・目的。 2. 子どもの成長発達に関わる教育者の役割。 3. 人間形成と家庭・地域・社会の関係。 4. 教育実践に関わる基礎理論と実際の取り組み。 5. 現代教育の抱えている課題。	(1) 教育という営みの意義・理念・目的について理解している。 (2) 子どもの成長発達に関わる教育者の役割について理解している。 (3) 人間形成と家庭・地域・社会の関係について理解している。 (4) これから教育実践に関わる理論を学んでいくための基礎を習得している。 (5) 現代教育の抱えている課題を捉えており解決策を探究することができる。 (6) 以上5つの点について主体的に学びを深めてゆく姿勢を身につけている。		◎							
17UEDC1241	保育の心理学 I	1	教育・保育の実践にかかわる心理学の基礎的知識を習得し、子どもへの理解を深めることを目的とする。生涯発達の過程を理解することが求められるが、特に乳幼児期の発達の過程とその特徴を理解することが中心となる。また、その発達が人との相互的にかかわりを通してなされていくことを理解することも重要である。乳幼児期以降の発達についても、各発達時期の様相と課題について理解していくことが求められる。	(1) 重要な発達理論を説明することができる。 (2) 各発達時期の特徴と課題とを述べることができる。 (3) 乳幼児期の保育・教育、児童期の教育において、発達心理学から導かれるポイントについて、論じることができる。		◎							
17UEDC1243	障害児の発達教育論	1	特別支援教育の実践に必要な基礎として、障害をもつ子どもの心身の発達、およびその発達に即した教育の必要性と手法について学ぶことが本科目の目的である。	(1) 障害をもつ子どもの心身の発達を知る。 (2) 特別支援教育の実践に必要な基礎を学ぶ。 (3) 障害をもつ子どもに即した教育の必要性と手法を学ぶ。		◎							
17UEDC1182	英語 II	1	小学校での「外国語活動」や英語の教科化に対応するだけでなく、広く社会で英語が使われることに鑑み、英語の4つの技能を有機的に関連づけて、しっかりした英語力を身につけることを目的とする。	「英語 I」に引き続き基礎的な文法事項を確実に自分のものにして、 (1) 英語の文章を正確に理解して、その内容や自分の考えを英語で話すことができる。 (2) 英語の文章を正しく読み取って、その内容や自分の意見を英語で書くことができる。		◎	○						
17UEDC1104	I C T の 活 用	1	情報リテラシーで学んだ内容をさらに発展させ、教員・保育士の仕事を援助する道具としてコンピュータを使いこなす能力と、教職に必要な情報教育についての高度な情報処理能力を獲得し、情報化社会に対応した教育を実践できる能力を育成する。	基本的なソフトウェアの使い方を学び、教育・保育に利用できるマルチメディア技術を習得するとともに、教育・保育現場で必要な情報モラルの基本を身につける。		○	○				◎		
17UEDC1106	体育 II (実技)	1	体育・スポーツについての体験的活動と講義を通して、教育者・保育者に求められる健康と安全についての知識と技能を身につける。	(1) 陸上運動とリズムダンスの理論的背景について理解する。 (2) 陸上運動とリズムダンスを安全に実践することができる。		○	◎						
17UEDC1202	教科国語	1	国語表現の特徴の理解と国語表現の体験的活動を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 国語による表現の特質や技法について理解する。 (2) 目的に応じて的確に話したり文章に表現することができる。		◎							



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2							
17UEDC1262	児童家庭福祉	1	まず、児童とその家族の社会的背景を学び、児童の権利、関連する児童福祉の理念および知識の理解を深めることを目的とする。そして、現代社会における児童に関する問題や課題を明確にし、児童と家族への支援のあり方を考える。	(1) 日本における児童に関する法律を学び、児童家庭福祉施策の現状を理解することができる。 (2) 児童やその家族の生活状況、多様なニーズの拡大、社会的背景の基本を理解することができる。 (3) 児童家庭福祉における福祉の支援の意義、役割、課題について理解することができる。	◎									
17UEDC2001	2年次演習	2	初期演習での学習をふまえて、現代社会における教育に関する課題を主体的に見つけ、それらについて議論、検討し、得られた知見をプレゼンテーションやレポート発表によって表現する力量を形成する。それにより、教師・保育者として必要な、課題を発見し、解決する力、論理的に思考する力、創造的に表現する力を身につける。	(1) 子どもと教育に関して、グループでテーマを設定して調査し、まとめ、プレゼンテーションを行うことができる。 (2) 子どもと教育の問題に関して、データの収集、整理、分析をとおして新しい知見を生み出し、それをレポートにまとめることができる。				○		◎				
17UEDC2181	外国語コミュニケーションⅠ	2	「英語Ⅰ・Ⅱ」で身につけた4技能の総合的な力を基礎にして、社会で使えるオーラル・コミュニケーション能力をさらに発展させることを目的とする。また、多様な題材や教材を用いて、教育現場で使える英語を学習し、幼児・児童英語教育のための実践的英語能力をつけることを目的とする。	(1) 日常的话题について英語で会話することができる。 (2) 教室英語の様々な表現を学習する。 (3) 英語の発音、リズムやイントネーションに慣れる。					◎					
17UEDC2182	外国語コミュニケーションⅡ	2	「英語Ⅰ・Ⅱ」で身につけた4技能の総合的な力を基礎にして、社会で使えるオーラル・コミュニケーション能力をさらに発展させることを目的とする。また、多様な題材や教材を用いて、教育現場で使える英語を学習し、幼児・児童英語教育のための実践的英語能力をつけることを目的とする。	(1) 日常的话题について英語でプレゼンテーションやディスカッションができるようになる。 (2) 教室英語表現を場面に応じて使えるようになる。 (3) 幼児・児童向けの英語の歌を歌ったり、物語を朗読したりできるようになる。					◎					
17UEDC3001	教育演習	3	卒業研究に繋がる科目である。少人数の演習形式の授業を通して、教育・保育に対する深い理解と、論文を作成するなどの教育・保育に必要な技能、ディスカッションする力、教育・保育に関する課題を自ら探究する力を身につける。また、担当者によっては、専門的なスキルの習得とプレゼンテーション能力を重視する。	(1) 次年度に卒業研究に取り組むために必要なさまざまな知識とスキルを身につける。 (2) 教育・保育に関する問題を深く考え、他の人と議論し、論理的な結論を導き出すことができる。 (3) 身につけたスキルをもとに、説得力あるプレゼンテーションができる。							◎		○	
17UEDC4001	卒業研究	4	自分で選択したテーマについての理解を深めるとともに、論文の形にまとめていくことを目的とする。教育演習で身につけた、教育・保育に関する課題を自ら探究する力を一層高める。また、担当者によっては、作品公開や技能実演を目的とする。	(1) 研究に必要な幅広く深い知識と、研究を進めるためのスキルを身につける。 (2) 教育・保育に関する多様な考えを批判的に理解し、自分の見解をもつことができる。 (3) 身につけたスキルをもとに、説得力あるプレゼンテーションができる。							○		◎	



# 平成29年度入学生用カリキュラムマップ

【教育学科】

【小学校教育コース】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
17UEDE2111	教科理科 I	2	小学校理科「B生命・地球」領域の理論的内容の理解と実験等の体験的活動を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1)「B生命・地球」領域の教材について理解する。 (2)「B生命・地球」領域の実験や観察を行うことができる。		◎							
17UEDE2113	教科体育	2	児童および乳幼児の心身の発育発達の知識の理解と体験的活動を通して、初等教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1)乳幼児および児童の運動機能の発達段階とその個人差を理解している。 (2)運動を安全に行うための配慮の視点を理解し、安全に運動を実施することができる。 (3)自分自身が運動を楽しめるような多様な動きや体力を身につける。		◎							
17UEDE2121	教育課程総論(小)	2	教育課程の編成・実施・評価について、主として小学校段階に即してひととおりの知識と理解を得ることにより、教職を担うために必要とされる基礎的な素養を養う。	(1)現代日本の学校における教育課程について、それを支える考え方や法制、実際の編成・実施・評価の方法を、歴史と国際比較の二つの視点から説明できるようにする。 (2)カリキュラムおよび教育課程という概念の成立と発展について学ぶ。 (3)我が国の教育課程をめぐる制度について歴史的に概観する。 (4)現在の教育課程の基準(小学校学習指導要領など)とそれに基づく教育課程の編成・実施・評価の実際について事例をとおして学ぶ。 (5)諸外国の教育課程と比較することにより我が国の教育課程の特質を知る。		◎							
17UEDE2123	道德教育の理論と実践	2	1.人間は自己・他者・社会という三つの契機をもって日々生きていく存在であるが、自己と社会の媒介になるのが他者との関係である。道德はこの他者関係を本来の課題とするが、その課題を探究する。 2.特別な教科としての道德について学ぶ。	(1)我が国における道德教育の改革動向について、基礎的な知識を有している。 (2)道德の基本理念を理解し、小学校における道德教育の授業方法について。他の活動領域と関連づけながら具体的に理解し、実践することができる。		○	◎						
17UEDE2125	教育方法論	2	1.教育方法学の概要を学び、特に義務教育を視野に入れながら、教授・学習に焦点をあて理論と実践の乖離を超克し、理論を教育実践に活用するための「方法・技術」に関する基礎的な知識を習得する。 2.「教育方法学」の領域は、授業の技術的原理に関する問題だけではなく、教室における子どもの学習の経験の問題、カリキュラム構成と評価に関する問題、教室における教師と子どものコミュニケーションの問題、教師と教師教育に関する問題などを包摂して成立していることを学ぶ。	(1)教育方法学の歴史や日本の授業と授業研究の概観などに関する基礎的な知識を修得することを通して、より豊かな教育観、授業観をもつことができる。 (2)授業づくりの諸理論に関する基礎的な知識を修得し、それらの理論を学習指導法と関連付けて説明することができる。		◎	○						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
17UEDE2181	外国語活動指導法	2	小学校における「外国語活動」におけるさまざまな活動や教材教具の使い方を理解することを目的とする。また、「外国語活動」授業における活動を計画・実践を行なうことにより基本的な指導方法を理解することを目的とする。	(1) 日本における小学校英語教育の意義や現状を理解する。 (2) 「外国語活動」の指導方法、教材教具の活用方法を理解する。 (3) 「外国語活動」の活動を計画する。 (4) 模擬授業または部分的活動指導等演習を行い、実践的指導力の基礎を養う。		○	◎						
17UEDE2241	教育社会学	2	教育社会学の観点から、近代「教育」や「学校」の歴史的位置づけを確認した上で、今日における問題や課題を捉え、教員の役割や職務内容の理解を深め、小学校・幼稚園教員として必要な資質・能力を修得する。	(1) 教育現象を歴史的側面や社会的側面を結び付けて捉えられるようになる。 (2) 現在の学校および教育に関する社会的期待や批判等について客観的に考えられるようになる。 (3) 教師や学校に対する社会的期待を理解し、それに答える方法について考えられるようになる。 (4) 上記を通して、教師に対する社会的期待や心構えを理解する。		◎			○				
17UEDE2243	教育思想の歴史	2	教育の歴史は、社会・文化の歴史と同様に、人間が社会生活を始めた時期にまでさかのぼる。とりわけ近代以降のそれは、教育と子どもをめぐる固有の課題から生じた教育思想の歴史でもある。本科目の目的は、現代の教育を展望するために不可欠な教育思想史の見方を得ることにある。	(1) 近代学校および学校システムの特徴について、適切な概念の用語を用いて解説することができる。 (2) 教育についての考え方の歴史的変遷を、時代背景や社会構造の変化と照らし合わせながら説明できる。 (3) 教育学の理論的基盤がどのような教育思想によって形成されたかを理解し、教育史上、重要な教育思想家を取り上げその特徴を説明することができる。		◎							
17UEDE2245	伴奏法と弾き歌い	2	ピアノ演奏の体験的・探究的活動を通して、初等教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 自己の技能に応じたピアノ曲を演奏することができる。 (2) 童謡や唱歌の弾き歌いおよび伴奏をすることができる。 (3) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。			◎						
17UEDE2279	海外教育参加実習指導	2	アメリカの教育現場を観察するために必要な視点を学び、コミュニケーション能力を身につける。	(1) 留学に対する確たる目的意識をもつ。 (2) アメリカの教育現場を観察するための視点をもつ。					○	◎			
17UEDE2261	障害児福祉論	2	障害児とその家族の社会的背景を学び、児童の権利や障害者の権利に関連する福祉の理念および知識の理解を深めることを目的とする。そして、現代社会(特に教育分野)における障害児に関する福祉と教育的課題を明確にし、障害児と家族への支援のあり方を学ぶ。	(1) 日本における障害に関する法律を学び、障害児福祉施策の現状を理解することができる。 (2) 児童やその家族の生活状況、多様なニーズの拡大、社会的背景の基本を理解することができる。 (3) 教育分野における福祉の支援の意義、役割、課題について理解することができる。 (4) 障害児福祉と教育の連携について理解する。 (5) 自らの障害観をもてるようにする。		◎							
17UEDE2263	知的障害者の心理・生理・病理	2	知的障害児・者の心理・生理・病理の特徴を学び、特別支援教育のための基礎的知識を習得する。	(1) 知的障害児・者の教育や支援に必要な最低限の知識を習得する。 (2) 特別支援教育に携わるために必要な発展的科目習得の準備をする。 (3) 特別支援教育だけでなく、保育・初等教育に携わる者として必要な最低限の知識を習得する。		◎							
17UEDE2265	病弱者の心理・生理・病理	2	病弱者教育の基盤として、病弱者の生理、病理の知識を学ぶ。慢性疾患を患ったことから発生する、身体と生理的側面、心理的側面、社会的側面にわたる影響を学び、病弱者とその家族にあった適切な支援ができる教員としての資質を培う。	(1) 病気の基礎知識(生理と病理など)、そして心理状態について学び、教育上の指導や教育的配慮を理解する。 (2) 病気、病弱の子どもの個別性を理解し、個別学習指導計画を立案できる基礎を学ぶ。 (3) 病気のある子どもに対する特別支援学校教諭の教育の役割を考える。 (4) 病弱者とその家族が暮らしやすい社会の実現について考えを深化させる。		◎							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
17UEDE2267	社会的養護	2	児童のおかれている状況と社会的養護の現状を理解し、自分の「子ども観」をもつとともに、社会的養護を実践するための理論と方法を理解し、習得することを目的とする。	(1) 社会的養護の現状と課題について理解し、説明できる。 (2) 社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。 (3) 社会的養護と児童福祉の関連性および児童の権利擁護について理解する。 (4) 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 (5) 社会的養護における児童の人権擁護および自立支援等について理解する。 (6) これからの社会的養護のあり方について、自分の意見を持つことができる。		◎							
17UEDE2321	保育内容・言葉	2	保育内容「言葉」の目標、乳幼児期の言葉の発達過程を正しく理解する。子どもたちが自分の経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話すことを聞こうとする意欲や態度を育てるための援助・指導の方法を学ぶ。言葉を豊かに育てる児童文化財・遊びの知識、また保育環境をデザインする実践力を獲得する。	(1) 乳幼児期の言葉の発達について知り、発達に基づく保育のあり方を理解する。 (2) 日常生活の中で使う言葉に広く関心を持ち、保育者として子どもたちや大人にかかわる時の言葉の力を身につける。		◎	○						
17UEDE2323	保育内容・表現 I	2	幼稚園教諭および保育士として、幼稚園教育要領・保育所保育指針の目標を達成するために必要な、領域「表現」の基本的知識を理解し、指導方法を考える基礎を養うことを目的とする。	(1) 保育実践に関する知識の理解 (2) 指導のための基礎技能・連絡調整スキル (3) 保育者としての指導力・チームワーク (4) 統合的な学習経験と創造的思考力を身につける		◎	○						
17UEDE2112	教科理科 II	2	小学校理科「A物質・エネルギー」領域の理論的内容の理解と実験等の体験的活動を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 「A物質・エネルギー」領域の教材について理解する。 (2) 「A物質・エネルギー」領域の実験や観察を行うことができる。		◎							
17UEDE2114	教科音楽	2	ソルフェージュ（リズム・音程関連）と音楽理論（楽典）の理解と歌唱の基礎的な技術や表現方法の練習を通して、初等教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 基礎的なソルフェージュと音楽理論の知識を理解する。 (2) 基本的な発声を行うことができる。 (3) 基本的な譜読ができる。		◎							
17UEDE2122	体育科指導法	2	小学校体育科教育の理論的理解と体験活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校体育科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校体育科の授業を計画・実施することができる。			◎						
17UEDE2142	特別活動論	2	学習指導要領に示された「特別活動」について、内容や、その趣旨、指導法について理解する。	(1) 学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事といった特別活動の各分野の意味づけを理解する。 (2) 実際の指導にどういかしていくか、具体的に探求することができる。		○	◎						
17UEDE2144	総合学習論	2	1. 小学校教育における総合学習についての理論と実践の理解を通して、教師としての資質・能力の基礎を養う。 2. このため、総合的な学習の時間における横断的・総合的な学習や児童の興味・関心等に基づく学習など創意工夫を生かした教育活動の展開に必要な基礎的知識を学習し、総合的な学習の展開に必要な資質を身につける。	(1) 総合学習の理論的背景について理解する。 (2) 総合学習の指導計画を立案することができる。 (3) 総合的な学習の時間のねらいや意義を理解する。 (4) PBLの進め方を理解し、総合的な学習の時間の単元構成ができる。		○	◎						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
17UEDE2192	学校教育参加実習	2	小学校教育に関わる理論的知識と実践的な知識を関連させながら理解することにより、教職についての理解を深め、教育活動を客観的にとらえる能力を身につける。	(1) 専門教育科目の講義や演習で学んだ知識を踏まえて、教育現場の状況を解釈できる。 (2) 教育現場の観察と体験の活動を踏まえて、自身の課題を設定することができる。				◎					
17UEDE2242	教育哲学	2	1. 「教育哲学」を組み入れる歴史的社会的文脈を理解する。 2. さらに「子どもの発達」や「子どもへの教育」を、大人や老人を含めた「ライフサイクル」の全体、そしてライフサイクルの各段階での異なった世代どうしの「相互生成」から見直すことによって、「教育」を根本から考え直す。	教育に関する「哲学的考察」の導入、さらには「子どもの発達」や「子どもへの教育」に関する、ライフサイクル論や相互生成論からの再考により、教育事象について原理的な見方や考察ができる。			◎						
17UEDE2244	人権教育と福祉の研究	2	1. 人権に関する知識を学び、子どもの人権を尊重する教育者の資質を身につける。 2. 人権問題を解決するためには、福祉の問題と密接に関連していることを把握する。	(1) 人権問題に対する学習を深め、人権感覚を磨き、教育現場において実践的に人権教育を進める資質を養う。 (2) そのために、子どもたちが、興味を持って学べる人権教育の教材づくりの方法を身につける。			◎						
17UEDE2246	子ども理解と教育	2	小学校の教師にとって不可欠な、児童を理解する力を持つことの重要性を知り、意欲と熱意をもって教師に必要な知識や技能を学ぶ姿勢を身につける。教師としての幅広い教養とともに自分の得意分野を見つけ、児童の「生きる力」を培える基礎的な力を身につける。	(1) 児童を理解することが教育に大きな関わりを持つことを理解する。 (2) 教師にとって必要な幅広い教養的知識を得る。 (3) 自分の得意分野や強みを自覚し、それを高めていくことができる。		◎							
17UEDE2248	子どもと文学	2	文学教材の鑑賞と探究的活動を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 文学教材の教材研究を行い、学習活動案を立案することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。			◎						
17UEDE2250	感性を育む造形表現の展開	2	造形表現の体験的・探究的活動を通して、初等教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 製作の道具を的確に使用し、材料の特性を生かした作品を製作することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。			◎						
17UEDE2252	子どもと数学	2	算数・数学の探究的活動を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校算数科の内容の数学的背景を理解し、数学的に見通しをもって算数科を指導する数学的技能・表現を身につける。 (2) 子どもたちの数学的思考力を涵養するための教材を開発することができる。 (3) 初等・中等教育段階で求められる数学の基礎的な概念や原理・法則について興味・関心をもち探究することができる。			◎						
17UEDE2254	世界の子どもたち	2	現代社会の諸課題についての探究的活動を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 現代社会の諸課題に基づいた授業計画と立案することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。 (3) 小学校社会科における授業内容を通して、エネルギーや環境問題、貧困問題といった社会問題への関心を高めることができる。			◎			○			
17UEDE2266	異文化理解とコミュニケーション	2	小学校・幼稚園の教員として、地域や職場のグローバル化に対応し、様々な文化背景や価値観を持つ人々と良好なコミュニケーションを行うことのできる能力の養成を目的とする。	(1) 文化の違いによる言語・非言語コミュニケーションスタイルの多様性を理解する。 (2) 文化背景や価値観の異なる人々の考えに敬意を持って耳を傾けるとともに、自分の考えもきちんと主張できる技術を身につける。		○			○	◎			



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
17UEDE2282	教室で使う英語表現	2	アメリカの小学校および幼稚園での「海外教育参加実習」に必要な英語表現を学ぶ。	(1) アメリカの幼児・児童と英語でコミュニケーションがとれる。 (2) 英語で教室内の説明、指示ができる。			◎						
17UEDE2292	海外教育参加実習	2	アメリカの教育現場を観察することによって、アメリカの教育制度、学校教育、教育文化を学ぶ。	(1) アメリカの教育の特徴を説明できる。 (2) 日米の教育を比較し、日本の教育について意見を持つ。 (3) アメリカの幼児・児童と英語でコミュニケーションがとれる。				○	◎				
17UEDE2258	調理と裁縫の生活スキル	2	調理と裁縫の体験的・探究的活動を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 手縫い・ミシン縫いによって作品を製作することができる。 (2) 調理実習の指導計画を立案することができる。 (3) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。			◎						
17UEDE2322	保育内容・表現Ⅱ	2	子どもの豊かな感性・表現力を引き出し、育てるにはどのようにすればよいかを学ぶ。また、自らの感性と表現力を高める。	(1) 子どもの表現する意欲を多面的に考え、環境を整える創造力。 (2) 専門的な技能や知識を子どもの発達に即し、保育の現場と総合的に結び付け、実践化する力を身につける。		◎	○						
17UEDE3121	国語科指導法	3	小学校国語科教育の理論の理解と体験活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校国語科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校国語科の授業を計画・実施することができる。			◎						
17UEDE3123	社会科指導法	3	小学校社会科教育の理論の理解と体験活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校社会科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校社会科の授業を計画・実施することができる。 (3) 小学校社会科における授業づくりの基礎・基本を習得する。 (4) 小学校社会科の学習指導要領や、小学校社会科の授業内容について、理解する。 (5) グループでの模擬授業などの演習を通して、実践的な場面を想定した小学校における社会科指導法の実践力を高めることを、到達目標とする。			◎						
17UEDE3125	算数科指導法	3	小学校算数科教育の理論の理解と体験的活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校算数科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校算数科の授業を計画・実施することができる。 (3) 小学校算数科の授業を構想し、批判的に検討することができる。			◎						
17UEDE3127	理科指導法	3	小学校理科教育の理論の理解と体験的活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校理科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校理科の授業を計画・実施することができる。			◎						
17UEDE3129	生活科指導法	3	小学校生活科教育の理論の理解と模擬授業等の体験的活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校生活科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校生活科の授業を計画・実施することができる。			◎						
17UEDE3131	教育実習指導Ⅰ(小)	3	小学校教育に関わる実践的な知識と教育実習の意義の理解を通して、教師としての自覚を持ち、実践的指導力の基礎を養う。「教育実習Ⅰ(小)」に向けて、教育実習を行う上で必要となる学校教育全般にわたる基本的理解を図る。教育実習の意義、実習生としての望ましい態度・技能を修得し、教育者としての自覚を高める。教育実習を振り返り、教職への認識を確かなものとする。	(1) 小学校教育に関わる教師の活動と、教育実習の意義について理解する。 (2) 理論の理解を通して得た様々な情報を踏まえて、自身の課題を設定することができる。 (3) 学校教育全般に関する基本的な知識を理解する。 (4) 教職と自己に対する認識を深める。 (5) 小学校教諭としての自覚を高め、態度・技能を修得する。			◎	○				○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2			
17UEDE3241	学級担任論（小）	3	小学校教育における学級担任の役割と仕事の理解を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 学級担任の役割について理解する。 (2) 学級の運営計画を立案することができる。			◎							○	
17UEDE3243	身体表現	3	身体表現の体験的・探究的活動を通して、初等教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 乳幼児期から児童期の運動発達を踏まえた身体表現の指導計画を立案することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。			◎								
17UEDE3281	外国語活動の指導スキル	3	「外国語活動指導法」の1単位時間の活動を立案し模擬授業形式で演習することにより、実践的指導力を高めることを目的とする。	「外国語活動」の実践的指導力を高める。具体的な目標として、 (1) 「外国語活動」の指導案を作成することができる。 (2) 「外国語活動」に適する教室英語表現を身につける。 (3) 模擬授業を通して、1単位時間の「外国語活動」の進め方を理解する。			◎								
17UEDE3261	肢体不自由者の心理・生理・病理	3	将来「特別支援教育」に携わる教諭および保育士だけでなく、広く「肢体不自由児・者」の理解への糸口となることを主な目的としている。	(1) 体が動く仕組みを理解する。 (2) 肢体不自由児・者の心理・生理・病理特徴を理解する。			◎								
17UEDE3263	保育・教育課程総論	3	教育目標に示されている人格の完成の実現に向けて、子どもの心身の成長・発達に応じた保育・教育を行うために、保育・教育課程についての意義や編成についての理論を理解する。	子どもに応じた保育指導を行うための枠組みとなる保育・教育課程の意義や類型、それを編成するときのスコープやシーケンスといった観点など理論的背景について知識を修得する。			◎								
17UEDE3321	保育内容・健康	3	保育内容「健康」の目標や幼児の健康な心と体の発達を正しく理解し、健康で安全な生活を営めるようにするための保育のあり方や援助の仕方を学ぶことを目的とする。	(1) 発達年齢に応じて健康で安全な生活を営む力を身につけていくための保育のあり方を理解すると共に実践力を獲得する。 (2) 獲得した知識を活用し、課題を解決する力を養う。 (3) 保育内容「健康」の目標を正しく理解し、保育実践の場で生かされる技能を身につける。			◎	○							
17UEDE3421	特別支援教職論	3	通常学校の教職とは異なる特別支援学校の教師としての自覚と使命について学ぶ。	(1) 特別支援学校の教員としてどのようなことを目指すべきかを知る。 (2) 特別支援学校の教員の職務内容について理解する。			○							◎	
17UEDE3423	知的障害教育	3	知的障害児の臨床を学び、知的障害児の教育課程、指導法、生活や社会性の支援について正しく理解する。	知的障害児の特性を学び、それらに応じて必要な支援の仕方を考えることができるようになる。			◎								
17UEDE3425	障害児指導法	3	今後の教育の在り方としてインクルーシブ教育のシステム実現が目指される。そこでは特別支援教育の専門性がますます問われることになる。従って、本講義では指導根拠を明確にした指導方法について追求し、児童生徒の自立につながる指導方法を具体的に模索する。	(1) 障害児の確かな実態把握の方法を理解する。 (2) 実態把握から児童生徒の課題を設定し、指導方法を考えることができる。 (3) 指導結果についての的確な評価ができ、次の指導につなぐことができる。(PDCAサイクル) (4) 特別支援学校での各種障害に対応した指導法を理解する。 (5) 通常の学級の中で配慮を要する児童生徒への指導方法を考えることができる。			◎								
17UEDE3427	視覚障害教育総論	3	障害の中でも特殊性が強いと言われる視覚障害について知り、視覚障害児教育の基本的な考え方と教育・指導における留意点について学ぶ。	視覚障害者・児の生活の基本的な知識を身につける。			○	◎							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2			
17UEDE3122	音楽科指導法	3	小学校音楽科教育の理論の理解と体験活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校音楽科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校音楽科の授業を計画・実施することができる。			◎								
17UEDE3124	図画工作科指導法	3	小学校図画工作科教育の理論の理解と体験活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校図画工作科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校図画工作科の授業を計画・実施することができる。			◎								
17UEDE3126	家庭科指導法	3	小学校家庭科教育の理論の理解と体験活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校家庭科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校家庭科の授業を計画・実施することができる。			◎								
17UEDE3128	生徒指導・進路指導	3	1. 児童生徒の「生きる」力の育成を視点として、教師として必要とするこれからの学校における生徒指導・進路指導実践の理論と具体的な実践のあり方を学ぶ。 2. 生徒指導は、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的な資質や行動力を高めるようにするための指導・援助であることを理解する。 3. また進路指導は、児童生徒が自己の生き方を考え、将来の進路を主体的に選択していく能力や態度を育成するための指導・援助であることを理解する。	(1) 生徒指導・進路指導（キャリア教育）の意義・意味を理解し、理論と方法に関する基礎的・基本的な知識を身につける。 (2) 学校現場の現状を把握し、生徒指導上の課題や進路指導上の課題にいかに対峙し、対応しうるかを主体的かつ具体的に考察することができるようになる。			◎	○							
17UEDE3130	教育相談の理論と方法	3	小学校・幼稚園・保育所において、乳幼児や児童の発達に関する心理学知識をもとに、子どもの特性を理解し、子ども自身および保護者の支援についてその内容と方法を具体的に理解する。	(1) 乳幼児期から児童期における心理的発達の特徴を理解している。 (2) 乳幼児期から児童期における心理的な問題を理解し、実践に活かすことができる。 (3) 乳幼児期から児童期における保護者の悩みを理解し、実践に活かすことができる。			◎	○							
17UEDE3192	教育実習 I (小)	3	小学校教育に関わる体験的活動を通して、教師としての自覚を持ち、実践的指導力の基礎を養う。教育実習は教職課程の総括的、実践的意義をもつ教育経験の場である。講義を通して得た専門的知識を活かし、実習に取り組むことにより、教育者としての資質の向上を図る。	(1) 小学校教育に関わる教師の活動について理解する。 (2) 授業およびその他の活動中に、現職教師の援助を受けながら、適切に子どもを指導することができる。 (3) 実践を通して得た様々な情報を踏まえて、自身の課題を設定することができる。 (4) 小学校教諭をめざすものとして必要な、知識・技能、意欲・態度、問題解決能力等の指導力を身につける。			◎	○				○			
17UEDE3244	理科教育の実践研究	3	初等理科教育における実験・観察等の体験的・探究的活動を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 初等理科教育において教材となっている実験・観察について実験教材を開発することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。 (3) 小学校理科の内容を理解し、教材に関する基礎的な知識および技能を習得することができる。			◎				○			○	
17UEDE3246	教育調査法	3	教育に関する様々な情報を活用してそこから有用な情報を読み解くために、記述統計と初歩的な推測統計の技法を身につける。	(1) 教育に関する様々なデータを読み解くことができる。 (2) 教育に関するデータを収集し、わかりやすく表現することができる。 (3) 初歩的な推測統計を用いて、教育に関するデータを分析できる。								◎		○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
17UEDE3248	子どもの安全と保健	3	健康と安全にかかわる知識の理解を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 健康な生活を送るために必要な知識について理解する。 (2) 子どもたちの安全を守るために必要な知識について理解する。		◎	○						
17UEDE3250	通常学級での個別支援	3	通常学級に在籍する障害幼児・児童の発達過程や学習特性を理解し、効果的な支援のしかたを学ぶ。	(1) 様々な障害と学習特性についての理解を深める。 (2) 障害や発達理解に基づいた個別的な支援方法、援助技術を理解し、習得する。 (3) 集団や学級において共に学び、育ち合うための方法について具体的に理解する。		◎	○						
17UEDE3274	家庭支援論	3	社会生活で最初にして最期までかかわる最小集団である家族やそれを包含する場である家庭のなかで、子どもの成長・発達過程とのかかわりから、家族成員間での意識・行動や問題発生の際序と、それらに対する制度や支援の方策等について理解する。	(1) こどもおよびその家族に関する知識およびアセスメントの知識・技術を修得する。 (2) (1)を通して家庭とそこに生じた家族間の葛藤・課題についての知識を修得する。 (3) こども子育て支援にかかわる制度や諸機関（児童福祉関連施設など）についての役割や各種事業など支援体制を理解する。		◎		○					
17UEDE3322	保育内容・環境	3	環境の意義や乳幼児理解についてなど幅広く学び、幼児にとって身近な環境の特性を理解する。また環境に関する基礎的な知識や内容・技能を習得するとともに、環境とかかわる力を育てる保育内容を考え、内面を育てる豊かな環境の構成ができる保育者をめざす。	(1) 乳幼児にとって身近な環境の特性を理解し、環境とかかわる力を育てる保育内容について考える。 (2) 自ら進んで日常から「環境を観る目」を育て、温かな価値観をもつ保育者をめざす。 (3) 乳幼児の成長発達にとっての環境の大切さを学び、幼児の内面に「何が育つのか」を考え、理解していく。		◎	○						
17UEDE3324	保育内容・人間関係	3	保育内容「人間関係」のねらいや内容を理解し、乳幼児期の人間関係の発達の特性や子どもの人間関係にかかわる現代社会の状況をふまえて、人とかかわる力を育てる保育内容および援助・指導方法を実践的に理解する。	(1) 幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「人間関係」のねらいおよび内容について理解する。 (2) 子どもを取り巻く現代社会の人間関係に関心をもち、その問題点や改善の方策を考える。 (3) 乳幼児期の人間関係の発達の特性を理解し、特性をふまえた保育内容および方法について考える。 (4) 規範意識や道徳性の芽生えを培う指導・援助方法、人とかかわりが難しい子どもへの支援方法について考える。 (5) 具体的な保育展開について構想し、指導計画の作成ができる。		◎	○						
17UEDE3422	肢体不自由教育	3	肢体不自由児の臨床を学び、肢体不自由児の教育課程、指導法、生活支援について正しく理解する。	(1) 肢体不自由教育の現状を知り、課題に気づく。 (2) 肢体不自由児と定型発達の子どもの比較しつつ肢体不自由教育の視点を明確にする。 (3) 指導根拠を明確にした専門性の高い教育のあり方を追求する。			◎						
17UEDE3424	病弱教育	3	病弱児の臨床を学び、病弱教育の教育課程、指導法、病弱児の自己管理支援について正しく理解する。	(1) 病弱教育の教育課程について正しく理解する。 (2) 病弱児の指導法について正しく理解する。 (3) 病弱児の自己管理支援について正しく理解する。			◎						



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	
17UEDE3426	聴覚障害教育総論	3	インクルーシブ教育システムの実現を目指す中で今後聴覚障害児童生徒が、特別支援学校（聴覚障害）だけでなく通常学級等に在籍する状況が進むと考えられる。従って特別支援学校教諭だけでなく、通常学級担任にも聴覚障害および聴覚障害教育にかかわる知識や技能を深く学んだ教員が求められる。そこで本講義では、聴覚障害児を担当する通常学級担任を中心にして、効果的な支援のあり方や関係機関との連携を緊密に行うための知識や技能についての理解を深め、インクルーシブ教育システムの具体化を模索する。	(1) 聴覚に障害のある幼児・児童・生徒の保育・教育に必要な基本的な知識を獲得し、対応の仕方を身につける。 (2) 特別支援学校だけでなく、通常の学校での聴覚に障害のある幼児・児童・生徒への教育の在り方を考えることができる。		○	◎						
17UEDE4121	教職実践演習(小) A	4	1. 学院立学の精神に立脚した全人的教職実践力を支える人格を陶冶する。 2. 小学校教職課程科目の全履修履歴や様々な学外活動とその振り返りを通して、小学校教員として必要な資質能力が実践力としてどの程度有機的に統合され形成されているかを最終的に確認し、担当教員が連携協力して補完的指導を行い、その質を保証する。 3. 履修者自身がその実践的課題を把握し改善に努める意識を高め、主体的に探求する力量を形成する。 4. 本演習全体を通して、ともに学びあいともに育みあう、教職実践力を創造的に探求する。	(1) 小学校教員としての実践力について、これまでの修得状況を総合的に自己診断し、自らの実践的課題を把握し、授業担当者による補完的指導を踏まえて、その実践的課題を中心に探求する。①小学校教員としての使命感・責任感・教育的愛情を具体的に修得する。②小学校教員および社会人として、具体的実践場面でその社会性・対人関係能力を発揮する。③小学校教員として幼児・児童を人間的に理解し、その理解に基づく生徒指導力と学級経営力を具体的に構想し、実践する。④小学校教科を教授するに足る教科専門学力を確実に修得し、この教科専門学力に基づく当該教科内容を授業やその他の教育場面において適切に指導する力を修得する。 (2) この授業への参加意欲や受講者間でのともに学びあい・ともに育みあうという意識をもち、実際にこれを実践する。				○		○	○	◎	
17UEDE4241	指導音楽実践	4	総合的な音楽活動の体験的・探究的活動を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 合唱・合奏の基礎技術を身につける。 (2) 合唱・合奏の指揮を行うことができる。 (3) 音・楽器・形式などを工夫して自身のイメージを表現できる。 (4) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。			◎						○
17UEDE4243	体育・スポーツ演習	4	各種運動・スポーツの体験的・探究的活動を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 取り扱った運動の特性を踏まえて運動・スポーツに取り組むことができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。			◎						○
17UEDE4261	L D 等教育総論	4	学習障害 (LD)、注意欠如・多動症 (ADHD) 等の自閉症スペクトラム、言語障害、情緒障害、重複障害について理解し、その指導について学ぶ。	(1) 学習障害 (LD)、注意・欠如多動症 (ADHD) 等の自閉症スペクトラム、言語障害、情緒障害、重複障害について理解する。 (2) 上記の障害を持つ子どもへの指導について学ぶ。		○	◎						
17UEDE4263	保育指導法(遊びと指導)	4	幼児期は、遊びを通して心身が豊かに発達する時期である。この授業では、幼児期にふさわしい生活を積み重ねていくには、どのような遊びの体験が大切かについて学ぶ。さまざまな現場に関する視覚教材や事例を見ながら、保育現場での実際の遊びの姿をイメージし、遊びの援助方法を多様な角度から学んでいく。	保育技術の向上に向けて、遊びの意義を理解し、最終的には、遊びを深めるための大切な要素である、保育者の入念な環境構成、保育者の子どもの遊びを見とる感性、保育者の子どもの遊びを深める言葉かけなどの保育技術の基礎を身につける。			◎						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2		
17UEDE4265	保育指導法（保育と環境）	4	幼児期の保育は環境を通しておこなうものである。保育における「環境」の意味と重要性について理解し、環境を通して子ども達の健やかな発達を保障することのできる保育のあり方（環境の構成・再構成）について学ぶことを目的とする。	(1) 保育における「環境」の意味と重要性を理解する。 (2) 乳幼児の育ちを支える保育環境（子ども自らが関わる環境、安全な環境、温かな雰囲気と生き生きとした活動の場、人とかかわりを育む環境）を構成することができる。			◎							
17UEDE4321	教育実習指導Ⅱ（幼）	4	教育実習の意義を自覚し教育実習に臨めるようにするための基礎的・予備知識や技能の習得を目指すと共に、事前学習と実習園での実体験を結合させる。また、実習後の振り返りを行いつつ、教職への認識を確かなものとすることを目標とする。	(1) 教育実習に備えて、実習についての知識、技能、心構えを習得する。 (2) 保育指導案の作成、教育実習記録の記入方法を学び、ポイントを定め、まとめられるようになる。 (3) 実習体験報告交換会等の中で、進んで自己課題を発表したり、他者の反省から学びを深め合えるようになる。			◎							
17UEDE4441	肢体不自由教育総論	4	肢体不自由児の臨床を学び、個々の子どもに即した教育の必要性を実感し、肢体不自由教育を理解する。	(1) 肢体不自由児の臨床を学ぶ。 (2) 子どもに即した教育の必要性を実感し、肢体不自由教育を理解する。			◎							
17UEDE4451	重複障害等教育総論	4	行動上の重複障害と発達上の重度重複障害への特別支援教育における対応体系の全体像の基本的知識を身につけ、重複障害等の特性（心理、生理、病理）についての基本的理解をする。さらに自立活動を中心とした重複障害等への指導の基本的理解をする。	(1) 重複障害に関して、興味を持って調べようとし、学習の過程の中で新しい発見をし、重複障害への効果的指導法を論述できる。 (2) 重複障害を理解し、個のニーズに合った指導計画の概略が作成でき、指導上の問題解決を図る能力を身につける。		○	◎							
17UEDE4421	特別支援学校教育実習指導	4	特別支援学校で教育実習を行うために必要な教職専門知識・技能などを学ぶ。	障害のある子どもと接する時の基本的な姿勢について、十分な理解をすすめる。			◎							
17UEDE4491	特別支援学校教育実習	4	特別支援教育は、教職に就く者は必ず実践する内容である。特に特別支援学校の教育実習を通して、これまでに学習した理論・方法を活用して、特別支援学校教諭を目指す者として必要な、障害のある子どもに対する見方・知識・態度などを学び、指導力をつける。	(1) 子どもとのふれあいや実習校の指導教員の指導を通して、障害のある子どもの理解を深める。 (2) 求められる知識・技能・態度を学習する。 (3) 特別支援教育の指導者としての使命感を養う。			◎							
17UEDE4122	教職実践演習（小）B	4	1. 学院立学の精神に立脚した全人的教職実践力を支える人格を陶冶する。 2. 「教職実践演習ⅠA」の科目目的に加え、来春より何らかの形で教職に就くことを前提に、近隣自治体教育委員会との連携の下、教職を志す履修者が将来的に行使し得る最小限の実践力の修得状況を確認し、補充指導を行う。 3. 「教職実践演習（小）A」および本学における全ての学びを踏まえて、自己の教職実践力に係る諸課題を把握し、さらなる改善を重ねるとともに、生涯に互って学び続ける姿勢や態度を形成する。	(1) 「教職実践演習（小）A」および本学における全ての学びを踏まえ、自らの実践的課題を明らかにした上で、地域のニーズに応え信頼される教職実践力の内容について、以下の到達目標に即して確認と創造的な探求を行う。①小学校教員として、使命感・責任感・教育的愛情を実践的に表現する。②小学校教員および社会人として、社会的対人関係能力を実践的に修得する。③小学校教員として、幼児・児童等への人間的理解力を有し、これに基づく学級経営力を修得する。④小学校教科を教授するに足る教科専門学力を確実に修得し、この教科専門学力に基づく当該教科内容を授業等で適切に指導する力を修得する。⑤小学校教員として、上記以外の到達目標について自ら実践的に創造的に探求しようと努めている。 (2) この授業に積極的に参加し、受講者間でともに学びあい・ともに育みあうという共通意識をもち、これを実践する。				○		○	○	◎		
17UEDE4242	教科指導演習	4	小学校の授業に必要なとされる教授技術に関わる体験的活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校の授業に必要なとされる教授技術について理解する。 (2) 小学校全科の授業に必要なとされる教授技術について、著しい支障をきたすことなく実施することができる。			◎					○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号							
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性	
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2					
17UEDE4244	教育情報処理	4	これまでに学んだ内容を基に、教職に必要な情報教育についての高度な情報活用能力を獲得し、情報化社会に即応した教育を適切に実践できる能力を育てる。	情報表現力の一つとして文書表現だけでなく、画像・映像の処理やそれらの活用について学び、実践する力を身につける。			◎			○		
17UEDE4392	教育実習Ⅱ（幼）	4	幼稚園で教育実習を行うことにより、幼児教育者として必要な保育観・知識・技能・態度等を学ぶ。他の授業で学んだ理論や実技等を応用しながら、体験を通して具体的な指導力を身につける。	(1) 教育実習体験の中で指導法の実際を学び、保育実践を通して自己課題をもつ。 (2) 幼児理解の方法を保育実践を通して学び、日々の保育に展開できる力を身につける。 (3) すべての園内業務を理解し、保育環境の重要なことを知り、実務実習を進んで行う。			◎					
17UEDE4440	知的障害教育総論	4	知的障害・発達障害の子どもたちの学習・生活の指導の方法を具体的に学ぶ。	知的障害・発達障害の子どもたちの支援方法は100人いれば100通りあるといわれている。この授業では、様々なケースを検討することで、一人一人に合わせた支援とは何かを考えた個別の支援計画を作成できるようにする。			◎					
17UEDE4442	病弱教育総論	4	病弱児教育担当者の専門性の向上へ向けて、様々な疾患を有する子どもの精神的、身体的背景を理解し、彼らが生き生きと生活し、またより飛躍できるための良きアドバイザーとなることを目的とする。	(1) 様々な疾患を有する子どもの精神的、身体的背景を理解している。 (2) 病弱児が生き生きと生活し、またより飛躍できるためのアドバイスができる。			◎					

# 平成29年度入学生用カリキュラムマップ

【教育学科】

【幼児教育・保育コース】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
17UEDK2113	教科体育	2	児童および乳幼児の心身の発育発達の知識の理解と体験的活動を通して、初等教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 乳幼児および児童の運動機能の発達段階とその個人差を理解している。 (2) 運動を安全に行うための配慮の視点を理解し、安全に運動を実施することができる。 (3) 自分自身が運動を楽しめるような多様な動きや体力を身につける。		◎							
17UEDK2121	保育・教育課程総論	2	教育目標に示されている人格の完成の実現に向けて、子どもの心身の成長・発達に応じた保育・教育を行うために、保育・教育課程についての意義や編成についての理論を理解する。	子どもに応じた保育指導を行うための枠組みとなる保育・教育課程の意義や類型、それを編成するときのスコップやシーケンスといった観点など理論的背景について知識を修得する。		◎							
17UEDK2123	教育方法論	2	1. 教育方法学の概要を学び、特に義務教育を視野に入れながら、教授・学習に焦点をあて理論と実践の乖離を克服し、理論を教育実践に活用するための「方法・技術」に関する基礎的な知識を習得する。 2. 「教育方法学」の領域は、授業の技術的原理に関する問題だけではなく、教室における子どもの学習の経験の問題、カリキュラム構成と評価に関する問題、教室における教師と子どものコミュニケーションの問題、教師と教師教育に関する問題などを包摂して成立していることを学ぶ。	(1) 教育方法学の歴史や日本の授業と授業研究の概観などに関する基礎的な知識を修得することを通して、より豊かな教育観、授業観をもつことができる。 (2) 授業づくりの諸理論に関する基礎的な知識を修得し、それらの理論を学習指導法と関連付けて説明することができる。		◎	○						
17UEDK2181	外国語活動指導法	2	小学校学習指導要領にある「外国語活動」の意義や目的を理解し、「外国語活動」に関する知識および幼児・児童英語教育に関する知識を身につけることを目的とする。また、「外国語活動」の指導計画・1単位時間の授業をデザイン・部分的実践を行なうことにより効果的な指導方法を理解することを目的とする。	(1) 小学校学習指導要領にある「外国語活動」の意義・目標を理解するとともに、日本における幼児・児童英語教育の意義や現状を理解する。 (2) 「外国語活動」の指導方法、教材教具の活用方法を理解する。 (3) 学級担任としての「外国語活動」の進め方や外国人指導助手との連携の仕方を理解する。 (4) 「外国語活動」の指導計画の立て方・学習指導案の書き方を理解し作成する。 (5) 模擬授業または部分的活動指導等演習を行い、実践的指導力の基礎を養う。		○	◎						
17UEDK2125	保育指導法（遊びと指導）	2	幼児期は、遊びを通して心身が豊かに発達する時期である。この授業では、幼児期にふさわしい生活を積み重ねていくには、どのような遊びの体験が大切かについて学ぶ。さまざまな現場に関する視覚教材や事例を見ながら、保育現場での実際の遊びの姿をイメージし、遊びの援助方法を多様な角度から学んでいく。	保育技術の向上に向けて、遊びの意義を理解し、最終的には、遊びを深めるための大切な要素である、保育者の入念な環境構成、保育者の子どもの遊びを見とる感性、保育者の子どもの遊びを深める言葉かけなどの保育技術の基礎を身につける。		◎							



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
17UEDK2127	保育内容・言葉	2	保育内容「言葉」の目標、乳幼児期の言葉の発達過程を正しく理解する。子どもたちが自分の経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話すことを聞こうとする意欲や態度を育てるための援助・指導の方法を学ぶ。言葉を豊かに育てる児童文化財・遊びの知識、また保育環境をデザインする実践力を獲得する。	(1) 乳幼児期の言葉の発達について知り、発達に基づく保育のあり方を理解する。 (2) 日常生活の中で使う言葉に広く関心を持ち、保育者として子どもたちや大人にかかわる時の言葉の力を身につける。		◎	○						
17UEDK2129	保育内容・表現 I	2	幼稚園教諭および保育士として、幼稚園教育要領・保育所保育指針の目標を達成するために必要な、領域「表現」の基本的知識を理解し、指導方法を考える基礎を養うことを目的とする。	(1) 保育実践に関する知識の理解 (2) 指導のための基礎技能・連絡調整スキル (3) 保育者としての指導力・チームワーク (4) 統合的な学習経験と創造的思考力を身につける		◎	○						
17UEDK2241	教育社会学	2	教育社会学の観点から、近代「教育」や「学校」の歴史的な位置づけを確認した上で、今日における問題や課題を捉え、教員の役割や職務内容の理解を深め、小学校・幼稚園教員として必要な資質・能力を修得する。	(1) 教育現象を歴史的側面や社会的側面を結び付けて捉えられるようになる。 (2) 現在の学校および教育に関する社会的期待や批判等について客観的に考えられるようになる。 (3) 教師や学校に対する社会的期待を理解し、それに答える方法について考えられるようになる。 (4) 上記を通して、教師に対する社会的期待や心構えを理解する。		◎			○				
17UEDK2243	教育思想の歴史	2	教育の歴史は、社会・文化の歴史と同様に、人間が社会生活を始めた時期にまでさかのぼる。とりわけ近代以降のそれは、教育と子どもをめぐる固有の課題から生じた教育思想の歴史でもある。本科目の目的は、現代の教育を展望するために不可欠な教育思想史的見方を得ることにある。	(1) 近代学校および学校システムの特徴について、適切な概念の用語を用いて解説することができる。 (2) 教育についての考え方の歴史的変遷を、時代背景や社会構造の変化と照らし合わせながら説明できる。 (3) 教育学の理論的基盤がどのような教育思想によって形成されたかを理解し、教育史上、重要な教育思想家を取り上げその特徴を説明することができる。		◎							
17UEDK2245	伴奏法と弾き歌い	2	ピアノ演奏の体験的・探究的活動を通して、初等教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 自己の技能に応じたピアノ曲を演奏することができる。 (2) 童謡や唱歌の弾き歌いおよび伴奏をすることができる。 (3) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。			◎						
17UEDK2279	海外教育参加実習指導	2	アメリカの教育現場を観察するために必要な視点を学び、コミュニケーション能力を身につける。	(1) 留学に対する確たる目的意識をもつ。 (2) アメリカの教育現場を観察するための視点をもつ。					○	◎			
17UEDK2261	障害児福祉論	2	障害児とその家族の社会的背景を学び、児童の権利や障害者の権利に関連する福祉の理念および知識の理解を深めることを目的とする。そして、現代社会（特に教育分野）における障害児に関する福祉と教育的課題を明確にし、障害児と家族への支援のあり方を考える。	(1) 日本における障害に関する法律を学び、障害児福祉施策の現状を理解することができる。 (2) 児童やその家族の生活状況、多様なニーズの拡大、社会的背景の基本を理解することができる。 (3) 教育分野における福祉の支援の意義、役割、課題について理解することができる。 (4) 障害児福祉と教育の連携について理解する。 (5) 自らの障害観をもてるようにする。		◎							
17UEDK2263	知的障害者の心理・生理・病理	2	知的障害児・者の心理・生理・病理の特徴を学び、特別支援教育のための基礎的知識を習得する。	(1) 知的障害児・者の教育や支援に必要な最低限の知識を習得する。 (2) 特別支援教育に携わるために必要な発展的科目習得の準備をする。 (3) 特別支援教育だけでなく、保育・初等教育に携わる者として必要な最低限の知識を習得する。		◎							



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
17UEDK2122	保育内容・表現Ⅱ	2	子どもの豊かな感性・表現力を引き出し、育てるにはどのようにすればよいかを学ぶ。また、自らの感性と表現力を高める。	(1) 子どもの表現する意欲を多面的に考え、環境を整える創造力。 (2) 専門的な技能や知識を子どもの発達に即し、保育の現場と総合的に結び付け、実践化する力を身につける。		◎	○						
17UEDK2142	総合学習論	2	1. 小学校教育における総合学習についての理論と実践の理解を通して、教師としての資質・能力の基礎を養う。 2. このため、総合的な学習の時間における横断的・総合的な学習や児童の興味・関心等に基づく学習など創意工夫を生かした教育活動の展開に必要な基礎的知識を学習し、総合的な学習の展開に必要な資質を身につける。	(1) 総合学習の理論的背景について理解する。 (2) 総合学習の指導計画を立案することができる。 (3) 総合的な学習の時間のねらいや意義を理解する。 (4) PBLの進め方を理解し、総合的な学習の時間の単元構成ができる。		○	◎						
17UEDK2192	学校教育参加実習	2	幼稚園教育に関わる理論的知識と実践的な知識を関連させながら理解することにより、教職についての理解を深め、教育活動を客観的にとらえる能力を身につける。	(1) 専門教育科目の講義や演習で学んだ知識を踏まえて、教育現場の状況を解釈できる。 (2) 教育現場の観察と体験的活動を踏まえて、自身の課題を設定することができる。					◎				
17UEDK2242	教育哲学	2	1. 「教育哲学」を組み入れる歴史的社会的文脈を理解する。 2. さらに「子どもの発達」や「子どもへの教育」を、大人や老人を含めた「ライフサイクル」の全体、そしてライフサイクルの各段階での異なった世代どうしの「相互生成」から見直すことによって、「教育」を根本から考え直す。	教育に関する「哲学的考察」の導入、さらには「子どもの発達」や「子どもへの教育」に関する、ライフサイクル論や相互生成論からの再考により、教育事象について原理的な見方や考察ができる。		◎							
17UEDK2244	人権教育と福祉の研究	2	1. 人権に関する知識を学び、子どもの人権を尊重する教育者の資質を身につける。 2. 人権問題を解決するためには、福祉の問題と密接に関連していることを把握する。	(1) 人権問題に対する学習を深め、人権感覚を磨き、教育現場において実践的に人権教育を進める資質を養う。 (2) そのために、子どもたちが、興味を持って学べる人権教育の教材づくりの方法を身につける。		◎							
17UEDK2246	子ども理解と幼児教育	2	保育者にとって不可欠な、幼児を理解する力を持つことの重要性を知り、意欲と熱意をもって保育者に必要な知識や技能を学ぶ姿勢を身につける。保育者としての幅広い教養とともに自分の得意分野を見つけ、幼児の「生きる力」の基礎を培える基礎的な力を身につける。	(1) 幼児を理解することが教育・保育に大きな関わりを持つことを理解する。 (2) 保育者にとって必要な幅広い教養的知識を得る。 (3) 自分の得意分野や強みを自覚し、それを高めていくことができる。		◎							
17UEDK2248	子どもと文学	2	文学教材の鑑賞と探究的活動を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 文学教材の教材研究を行い、学習活動案を立案することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。		◎							
17UEDK2254	アンサンブルと弾き歌い	2	ピアノ演奏の体験的・探究的活動を通して、初等教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の向上を図る。	(1) より高度なピアノ曲を演奏することができる。 (2) 童謡や唱歌の弾き歌いおよび伴奏のレパートリーを増やす。 (3) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した演奏を伴う活動を行うことができる。			◎						
17UEDK2250	感性を育む造形表現の展開	2	造形表現の体験的・探究的活動を通して、初等教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 製作の道具を的確に使用し、材料の特性を生かした作品を製作することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。			◎						





科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	
17UEDK3123	保育内容・健康	3	保育内容「健康」の目標や幼児の健康な心と体の発達を正しく理解し、健康で安全な生活を営めるようにするための保育のあり方や援助の仕方を学ぶことを目的とする。	(1) 発達年齢に応じて健康で安全な生活を営む力を身につけていくための保育のあり方を理解すると共に実践力を獲得する。 (2) 獲得した知識を活用し、課題を解決する力を養う。 (3) 保育内容「健康」の目標を正しく理解し、保育実践の場で生かされる技能を身につける。		◎	○						
17UEDE3125	保育内容・環境	3	保育内容「環境」のねらいや内容を理解し、乳幼児にとって大切な身近な環境の特性を研究し、幼児の環境とかかわる力を育てる保育内容や豊かな体験のできる環境構成のあり方を学ぶ。	(1) 乳幼児が周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。 (2) 環境構成の重要性を理解し、豊かな環境構成ができる保育者をめざす。		◎	○						
17UEDK3127	保育内容・人間関係	3	保育内容「人間関係」のねらいや内容を理解し、乳幼児期の人間関係の発達の特性や子どもの人間関係にかかわる現代社会の状況をふまえて、人とかかわる力を育てる保育内容および援助・指導方法を実践的に理解する。	(1) 幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「人間関係」のねらいおよび内容について理解する。 (2) 子どもを取り巻く現代社会の人間関係に関心を持ち、その問題点や改善の方策を考える。 (3) 乳幼児期の人間関係の発達の特性を理解し、特性をふまえた保育内容および方法について考える。 (4) 規範意識や道徳性の芽生えを培う指導・援助方法、人とかかわりが難しい子どもへの支援方法について考える。 (5) 具体的な保育展開について構想し、指導計画の作成ができる。		◎	○						
17UEDK3129	教育実習指導 I (幼)	3	教育実習の意義を自覚し教育実習に臨めるようにするための基礎的・予備知識や技能の習得を目指すと共に、事前学習と実習園での実体験を結合させる。また、実習後の振り返りを行いつつ、教職への認識を確かなものとする。	(1) 教育実習に備えて、実習についての知識、技能、心構えを習得する。 (2) 保育指導案の作成、教育実習記録の記入方法を学び、ポイントを定め、まとめられるようになる。 (3) 実習体験報告交換会等の中で、進んで自己課題を発表し、他者と学びを深め合えるようになる。			◎	○					○
17UEDK3241	学級担任論 (幼)	3	望ましい保育実践を行うと共に、担任としての役割を理解して、論理的な思考と、理性的な判断ができる保育者を目指すことを目的とする。	具体的実践例をもとに、保育者としてクラス経営の方法や、保護者対応も含めあらゆる事象への対応力・責任ある態度等を問い直していく力を身につける。			◎						○
17UEDK3243	身体表現	3	身体表現の体験的・探究的活動を通して、初等教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 乳幼児期から児童期の運動発達を踏まえた身体表現の指導計画を立案することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。			◎						
17UEDK3281	外国語活動の指導スキル	3	「外国語活動指導法」の1単位時間の活動を立案し模擬授業形式で演習することにより、実践的指導力を高めることを目的とする。	「外国語活動」の実践的指導力を高める。具体的な目標として、 (1) 「外国語活動」の指導案を作成することができる。 (2) 「外国語活動」に適する教室英語表現を身につける。 (3) 模擬授業を通して、1単位時間の「外国語活動」の進め方を理解する。			◎						
17UEDK3261	肢体不自由者の心理・生理・病理	3	将来「特別支援教育」に携わる教諭および保育士だけでなく、広く「肢体不自由児・者」の理解への糸口となることを主な目的としている。	(1) 体が動く仕組みを理解する。 (2) 肢体不自由児・者の心理・生理・病理特徴を理解する。		◎							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
17UEDK3263	教育課程総論(小)	3	教育課程の編成・実施・評価について、主として小学校段階に即してひとつおりの知識と理解を得ることにより、教職を担うために必要とされる基礎的な素養を養う。	(1) 現代日本の学校における教育課程について、それを支える考え方や法制、実際の編成・実施・評価の方法を、歴史と国際比較の二つの視点から説明できるようにする。 (2) カリキュラムおよび教育課程という概念の成立と発展について学ぶ。 (3) 我が国の教育課程をめぐる制度について歴史的に概観する。 (4) 現在の教育課程の基準(小学校学習指導要領など)とそれに基づく教育課程の編成・実施・評価の実際について事例をとおして学ぶ。 (5) 諸外国の教育課程と比較することにより我が国の教育課程の特質を知る。		◎							
17UEDK3265	音楽科指導法	3	小学校音楽科教育の理論の理解と体験活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校音楽科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校音楽科の授業を計画・実施することができる。			◎						
17UEDK3267	子どもの保健Ⅱ	3	子どもの健康・保健ならびに保育に関する既習の知識を統合し、より実践的な学びを目的とする。さらによりよい保育の展開のための総合的な学びを進め、豊かな保育実践力を身につけることを目的とする。	(1) 子どもへの保健活動の果たす役割を理解する。 (2) 保健活動計画と評価について理解する。 (3) 疾病予防や健康増進のための支援を習得する。 (4) 安全・衛生管理と環境構成を行うことができる。 (5) 子どもの安全に配慮しながら、求められる発育課題への関わりを達成できる。 (6) 病気やけがの対応および救急時の対応を習得する。 (7) 子ども一人一人の個性を尊重し、人間育成の重要性を具象を通し判断することができる。		○	◎						
17UEDK3269	子どもの食と栄養	3	健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を理解し、子どもの年齢や発育・発達過程における食生活や食生活に特別な配慮を有する子どもへの対応を学ぶ。また、食を通じた保護者への支援や保育実践に係る食育の基本と内容について学ぶことを目的としている。	(1) 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基礎的知識を理解し、それらを活用し、生活者として望ましい食生活が実践できる。 (2) 子どもの成長や状況に応じた栄養、食生活を理解し、他者に自分の言葉で説明ができる。また適切な食事の提供や、食事指導ができる。 (3) 食育の基本と内容を理解し、保育の中で実践できる。		◎							
17UEDK3271	社会的養護内容	3	社会的養護における児童の権利擁護と保育士等の倫理責務について、施設や里親養護などの具体的に様々な事例を通して学ぶ。さらに、支援の計画を作成し、事例分析を通して理解を深める。	(1) 社会的養護における児童の権利擁護や保育士などの倫理・責務について具体的に学ぶ。 (2) 事例を通して、施設養護および他の社会的養護の実際について学ぶ。 (3) 個々の児童に応じた支援計画を作成し、日常生活の支援、治療的支援、自立支援の内容について具体的に学ぶ。 (4) 社会的養護にかかわるソーシャルワークの方法と技術について理解する。 (5) 社会的養護を通して、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について理解や認識を深める。		◎	○						
17UEDK3273	乳児保育	3	乳児保育の概要と、保育士に求められる乳児保育に必要な基本的知識や保育方法・技術などについて具体的に学ぶことを目的とする。	(1) 乳児保育の理念と歴史的変遷、役割などを理解する。 (2) 保育所、乳児院における乳児保育の現状と課題を理解する。 (3) 3歳未満児の発育・発達を学び、その健やかな成長を支える生活や遊びを理解し、基本的な援助技法を習得する。 (4) 乳児保育の計画を作成し、保育の内容や方法、環境構成や観察・記録を理解する。 (5) 保護者や関係機関との連携について理解する。		○	◎						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
17UEDK3521	保育実習指導 I B	3	保育実習指導 I Aや既習科目も踏まえて、保育所と施設での現場実習を円滑に実施し、学びを深めるために必要な基礎的な知識、技術、および姿勢・態度を理解し、習得することを目的とする。	(1) 保育実習の意義と目的を理解する。 (2) 保育実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 (3) 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法・内容について具体的に理解し、習得に努める。 (4) 保育士の倫理について理解する。 (5) 保育実習後の課題把握の契機をつくり、学習目標を明確にする。 (6) 実習生としての心構え、社会人としてのマナーを理解し、習得する。			◎	○					○
17UEDK3591	保育実習 I (保育所)	3	保育所の見学・観察、子どもの生活や遊びへの参加を通して、乳幼児の発達、保育士の職務内容や職業倫理、保育所の役割や機能について具体的に理解する。それによって、保育士として必要な価値・倫理、知識、技術の基礎を修得することを目的とする。	(1) 保育所の役割や機能を具体的に理解する。 (2) 観察や関わりを通して、子どもへの理解を深める。 (3) 保育および保護者支援について具体的、総合的に学ぶ。 (4) 保育の計画、観察、記録および自己評価等について具体的に理解する。 (5) 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。			◎	○					○
17UEDK3593	保育実習 I (施設)	3	保育所以外の児童福祉施設の見学・観察、生活などへの参加を通して、児童福祉施設などの役割と機能、保育士の職務、児童や成人の発達、保育・養護や援助の方法について理解する。それによって、保育士として必要な価値・倫理、知識、技術の基礎を修得することを目的とする。	(1) 児童福祉施設などの役割や機能を具体的に理解する。 (2) 観察や関わりを通して児童や成人への理解を深める。 (3) 保育や養護、支援、および保護者支援について具体的、総合的に学ぶ。 (4) 保育や養護、支援の計画、観察、記録および自己評価等について具体的に理解する。 (5) 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。			◎	○					○
17UEDK3130	教育相談の理論と方法	3	小学校・幼稚園において、幼児や児童の発達に関する心理学知識をもとに、子どもの特性を理解し、子ども自身および保護者の支援についてその内容と方法を具体的に理解する。	(1) 幼児期から児童期における心理的発達の特徴を理解している。 (2) 幼児期から児童期における心理的な問題を理解し、実践に活かすことができる。 (3) 幼児期から児童期における保護者の悩みを理解し、実践に活かすことができる。			◎	○					
17UEDK3192	教育実習 I (幼)	3	幼稚園での教育実践を体験することで、大学の授業で学習した理論・方法を活用しながら、幼稚園教師を目指すものとして必要な保育観・知識・技能・態度などを学び、指導力をつける。	(1) 教育実習体験の中で指導法の実践を学び、保育実践を通して自己課題をもつ。 (2) 幼児理解の方法を保育実践を通して学び、日々の保育に展開できる力を身につける。 (3) すべての園内業務を理解し、保育環境の重要なことを知り、実務実習を進んで行う。			◎	○					○
17UEDK3242	幼児教育実践演習	3	教育実習の経験を踏まえて、5領域の保育内容の実践力を総合的に高める。	(1) 教育実習の経験を振り返り、保育内容と指導法についての自らの課題を見つける。 (2) その課題を理論的に整理し、より良い実践を考え出すことができる。									◎
17UEDK3260	ことばと表現	3	保育を行うために必要な児童文化財についての基礎知識を理解し、児童文化財の活用の担い手になる力量を身につけ、子どもの心を豊かにするとともに、遊びや表現活動を展開するための援助や環境について学ぶことを目的とする。	(1) 保育内容を理解し、子どもの遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得する。 (2) 言語表現に関する知識や技術を習得する。 (3) 表現活動に係る教材研究および環境構成、保育の展開のための技術を理解し、習得する。 (4) 児童文化財について広い知見を持つ。		○	◎						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	
17UEDK3262	理科教育の実践研究	3	初等理科教育における実験・観察等の体験的・探究的活動を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 初等理科教育において教材となっている実験・観察について実験教材を開発することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。 (3) 小学校理科の内容を理解し、教材に関する基礎的な知識および技能を習得することができる。			◎			○			○
17UEDK3246	教育調査法	3	教育に関する様々な情報を活用してそこから有用な情報を読み解くために、記述統計と初歩的な推測統計の技法を身につける。	(1) 教育に関する様々なデータを読み解くことができる。 (2) 教育に関するデータを収集し、わかりやすく表現することができる。 (3) 初歩的な推測統計を用いて、教育に関するデータを分析できる。					○	◎			○
17UEDK3248	子どもの安全と保健	3	健康と安全にかかわる知識の理解を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 健康な生活を送るために必要な知識について理解する。 (2) 子どもたちの安全を守るために必要な知識について理解する。			◎	○					
17UEDK3250	通常学級での個別支援	3	通常学級に在籍する障害幼児・児童の発達過程や学習特性を理解し、効果的な支援のしかたを学ぶ。	(1) 様々な障害と学習特性についての理解を深める。 (2) 障害や発達理解に基づいた個別的な支援方法、援助技術を理解し、習得する。 (3) 集団や学級において共に学び、育ち合うための方法について具体的に理解する。			◎	○					
17UEDK3264	図画工作科指導法	3	小学校図画工作科教育の理論の理解と体験活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校図画工作科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校図画工作科の授業を計画・実施することができる。			◎						
17UEDK3266	体育科指導法	3	小学校体育科教育の理論の理解と体験活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校体育科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校体育科の授業を計画・実施することができる。			◎						
17UEDK3270	子どもの保健 I B	3	様々な健康段階にある子どもの理解を深め、求められる対応や援助ができる基礎的能力を習得することを目的とする。	(1) 知識・理解：子どもの保健教育の果たす役割を理解する。 (2) 思考・判断：子ども一人ひとりを尊重し、人間育成の重要性を専門的に判断できる。 (3) 関心・意欲：現代社会の情報をキャッチし、自分の知識や技能を見直し、高められる。 (4) 態度：自ら課題に取り組み、子どもに対する温かい育みの態度を示すことができる。 (5) 技能・表現：子どもの安全に配慮しながら、求められる発達課題への関わりを達成できる。			◎						
17UEDK3274	家庭支援論	3	社会生活で最初にして最期までかかわる最小集団である家族やそれを包含する場である家庭のなかで、こどもの成長・発達過程とのかかわりから、家族成員間での意識・行動や問題発生の機序と、それらに対する制度や支援の方策等について理解する。	(1) こどもおよびその家族に関する知識およびアセスメントの知識・技術を修得する。 (2) (1)を通して家庭とそこに生じた家族間の葛藤・課題についての知識を修得する。 (3) こども子育て支援にかかわる制度や諸機関（児童福祉関連施設など）についての役割や各種事業など支援体制を理解する。			◎		○				



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
17UEDK3252	障害児保育	3	障害児保育の理念や概要、保育士に求められる障害児保育に必要な基本的知識や保育方法・技術、そして保護者支援などについて具体的に学ぶ。	(1) 障害児保育の理念と歴史の変遷、役割などを理解する。 (2) 様々な障害について理解し、子どもの理解や援助の方法、環境構成について学ぶ。 (3) 障害のある子どもの保育の計画を作成し、個別支援および他の子どもとのかかわりのなかで育ち合う保育実践について理解を深める。 (4) 保護者や関係機関との連携、保護者支援について理解する。 (5) 障害児保育の現状と課題について理解する。		◎	○						
17UEDK3312	教科理科 I	3	小学校理科「B生命・地球」領域の理論的内容の理解と実験等の体験的活動を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 「B生命・地球」領域の教材について理解する。 (2) 「B生命・地球」領域の実験や観察を行うことができる。		◎							
17UEDK3522	保育の心理学 II	3	主に保育士を目指す人を対象に、子どもの心身の発達と保育実践について理解を深めることを目的とする。	(1) 子どもが生活と遊びを通して学習し、発達していく姿を「見取る」ことができるようになる。 (2) その見取りをもとに発達援助を関係者と協働して実践する能力を身につける。			◎						
17UEDK4241	指導音楽実践	4	総合的な音楽活動の体験的・探究的活動を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 合唱・合奏の基礎技術を身につける。 (2) 合唱・合奏の指揮を行うことができる。 (3) 音・楽器・形式などを工夫して自身のイメージを表現できる。 (4) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。			◎						○
17UEDK4243	運動遊び演習	4	運動遊びの体験的・探究的活動を通して、初等教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 乳幼児期から児童期の運動発達を踏まえた運動遊びの指導計画を立案することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。			◎						○
17UEDK4261	L D 等教育総論	4	学習障害 (LD)、注意欠陥多動性障害 (ADHD)、高機能自閉症等の自閉症スペクトラム、言語障害、情緒障害、重複障害について理解し、その指導について学ぶ。	(1) 学習障害 (LD)、注意欠陥多動性障害 (ADHD)、高機能自閉症等の自閉症スペクトラム、言語障害、情緒障害、重複障害について理解する。 (2) 上記の障害を持つ子どもへの指導について学ぶ。		○	◎						
17UEDK4263	国語科指導法	4	小学校国語科教育の理論的理解と体験活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校国語科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校国語科の授業を計画・実施することができる。			◎						
17UEDK4265	生活科指導法	4	小学校生活科教育の理論的理解と模擬授業等の体験的活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校生活科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校生活科の授業を計画・実施することができる。			◎						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
17UEDK4267	生徒指導・進路指導	4	1. 児童生徒の「生きる」力の育成を視点として、教師として必要とするこれからの学校における生徒指導・進路指導実践の理論と具体的な実践のあり方を学ぶ。 2. 生徒指導は、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的な資質や行動力を高めるようにするための指導・援助であることを理解する。 3. また進路指導は、児童生徒が自己の生き方を考え、将来の進路を主体的に選択していく能力や態度を育成するための指導・援助であることを理解する。	(1) 生徒指導・進路指導（キャリア教育）の意義・意味を理解し、理論と方法に関する基礎的・基本的な知識を身につける。 (2) 学校現場の現状を把握し、生徒指導上の課題や進路指導上の課題にいかに対峙し、対応しうるかを主体的かつ具体的に考察することができるようになる。			◎	○					
17UEDK4269	相談援助・保育相談支援	4	相談援助の概要、方法と技術、具体的展開について、また保育相談支援の意義と原則、保護者支援の基本を理解する。 保育におけるソーシャルワークの応用と事例分析を通して対象への理解を深め、保育相談支援の実践を学び、保育所等児童福祉施設における保護者支援の実践について理解する。	(1) 相談援助および保育相談支援の意義・機能を理解することができる。 (2) 他者理解・自己理解、さらに保護者理解の重要性を理解することができる。 (3) ソーシャルワークの意義と援助技術の方法を理解することができる。 (4) 保育の専門性に基づいて、支援の在り方を理解する。 (5) 面接技法の基礎を習得することができる。 (6) 事例検討を通して、クライアントが抱える課題やその背景などを理解することができる。			○	◎	○				
17UEDK4311	教科理科Ⅱ	4	小学校理科「A物質・エネルギー」領域の理論的内容の理解と実験等の体験的活動を通して、初等教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 「A物質・エネルギー」領域の教材について理解する。 (2) 「A物質・エネルギー」領域の実験や観察を行うことができる。			◎						
17UEDK4321	家庭科指導法	4	小学校家庭科教育の理論的理解と体験的活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校家庭科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校家庭科の授業を計画・実施することができる。				◎					
17UEDK4323	教育実習指導Ⅱ（小）	4	小学校教育に関わる実践的な知識と教育実習の意義の理解を通して、教師としての自覚を持ち、実践的指導力の基礎を養う。 教育実習を行う上で必要となる学校教育全般にわたる基本的理解を図る。教育実習の意義、実習生としての望ましい態度・技能を習得し、教育者としての自覚を高める。	(1) 小学校教育に関わる教師の活動と、教育実習の意義について理解する。 (2) 理論的理解を通して得た様々な情報を踏まえて、自身の課題を設定することができる。 (3) 学校教育全般に関する基本的な知識を理解する。 (4) 教職と自己に対する認識を深める。 (5) 小学校教諭としての自覚を高め、態度・技能を修得する。				◎	○			○	
17UEDK4521	保育実習指導Ⅱ	4	保育実習Ⅰでの実習経験および既習教科の内容との関連を踏まえ、二度目の保育所実習を円滑に実施し、より実践的で、かつ、よりよい保育の展開のための総合的な学びを深めるために必要な知識、技術、および姿勢・態度を理解し、習得することを目的とする。	(1) 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。 (2) 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法・内容に対する具体的な理解を深め、習得に努める。 (3) 自らの実習の目標を明確化する。 (4) 保育士の専門性と職業倫理の理解を深める。 (5) 実習生としての心構え、社会人としてのマナーに対する理解を深め、習得する。 (6) 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。				◎	○				○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2			
17UEDK4271	乳児保育実践	4	3歳児未満児の発達および保育について理解を深める。特に、3歳児未満児における援助(生活や遊びの援助)の基本および指導計画について理解を深め、実践力を身につけることを目的とする。	(1) 乳児保育の意義、現状、課題に対する理解を深める。 (2) 3歳未満児の保育・発達に対する理解を深める。 (3) 発達理解に基づいた子どもへの援助について理解を深め、必要な技術を身につける。 (4) 乳児保育のための指導計画、保育内容や援助方法、環境構成に対する理解を深め、基礎的な技能を習得する。			○	◎							
17UEDK4591	保育実習Ⅱ	4	保育所における参与観察や指導計画の立案と実施などを通して、保育実習Ⅰの学びを深化させると同時に、乳幼児の発達、保育士の職務内容や職業倫理、保育所の役割や機能に対する理解を深める。それらによって、保育士に求められる価値・倫理、知識、技術を修得を目指すとともに、自己の課題を明確にすることを目的とする。	(1) 保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。 (2) 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。 (3) 既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、保育および保護者支援について総合的に学ぶ。 (4) 保育の計画、実践、観察、記録および自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。 (5) 保育士の業務内容、専門性および職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。 (6) 保育士としての自己の課題を明確にする。					◎	○			○		
17UEDK4541	保育実習指導Ⅲ	4	保育実習Ⅰでの実習経験および既習教科の内容との関連を踏まえ、保育所以外の児童福祉施設などでの実習を円滑に実施し、より実践的で、かつ、よりよい保育の展開のための総合的な学びを深めるために必要な知識、技術、および姿勢・態度を理解し、習得することを目的とする。	(1) 保育実習の意義と目的を理解し、保育・養護について総合的に学ぶ。 (2) 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法・内容に対する具体的な理解を深め、習得に努める。 (3) 自らの実習の目標を明確化する。 (4) 保育士の専門性と職業倫理の理解を深める。 (5) 実習生としての心構え、社会人としてのマナーに対する理解を深め、習得する。 (6) 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。					◎	○			○		
17UEDK4593	保育実習Ⅲ	4	保育所以外の児童福祉施設における参与観察や指導計画の立案と実施などを通して、保育実習Ⅰの学びを深化させると同時に、児童の発達や特性および障害、保育士の職務内容や職業倫理、児童福祉施設の役割や機能に対する理解を深める。それらによって、保育士に求められる価値・倫理、知識、技術の修得を目指すとともに、自己の課題を明確にすることを目的とする。	(1) 保育所以外の児童福祉施設の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。 (2) 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。 (3) 既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、保育や養護、支援および保護者支援について総合的に学ぶ。 (4) 保育や養護、支援の計画、実践、観察、記録および自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。 (5) 保育士の業務内容、専門性および職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。 (6) 保育士としての自己の課題を明確にする。					◎	○			○		
17UEDK4122	保育・教職実践演習(幼)	4	保育・幼児教育の担い手としての生活をより円滑にスタートできるよう、保育者になる上で必要な資質能力についての自己の課題を自覚し、不足している知識や技能等を必要に応じて補い、その定着を図る。	(1) 保育者として、使命感・責任感・教育保育的愛情等を有している。 (2) 社会性や対人関係能力を有している。 (3) 子どもを理解し、学級経営等を行うことができる。 (4) 保育内容等を豊かに開発し、これを保育実践に計画的に生かす指導することができる。							○		○	○	◎
17UEDK4244	教育情報処理	4	これまでに学んだ内容を基に、教職に必要な情報教育についての高度な情報活用能力を獲得し、情報化社会に即応した教育を適切に実践できる能力を育てる。	情報表現力の一つとして文書表現だけでなく、画像・映像の処理やそれらの活用について学び、実践する力を身につける。					◎				○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
17UEDK4262	算数科指導法	4	小学校算数科教育の理論の理解と体験的活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校算数科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校算数科の授業を計画・実施することができる。 (3) 小学校算数科の授業を構想し、批判的に検討することができる。			◎						
17UEDK4322	社会科指導法	4	小学校社会科教育の理論の理解と体験活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校社会科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校社会科の授業を計画・実施することができる。 (3) 小学校社会科における授業づくりの基礎・基本を習得する。 (4) 小学校社会科の学習指導要領や、小学校社会科の授業内容について、理解する。 (5) グループでの模擬授業などの演習を通して、実践的な場面を想定した小学校における社会科指導法の実践力を高めることを、到達目標とする。			◎						
17UEDK4324	理科指導法	4	小学校理科教育の理論の理解と体験的活動を通して、小学校教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 小学校理科教育の目標・内容・方法・評価について理解する。 (2) 小学校理科の授業を計画・実施することができる。			◎						
17UEDK4392	教育実習Ⅱ（小）	4	小学校教育に関わる体験的活動を通して、教師としての自覚を持ち、実践的指導力の基礎を養う。 この科目は、教育実習が教職課程の総合的、実践的意義をもつ教育経験の場であることを鑑みて、講義を通して得た専門的知識を活かし、実習に取り組むことにより、教育者としての資質の向上を図ることを目的としている。	(1) 小学校教育に関わる教師の活動について理解する。 (2) 授業およびその他の活動中に、現職教師の援助を受けながら、適切に子どもを指導することができる。 (3) 実践を通して得た様々な情報を踏まえて、自身の課題を設定することができる。 (4) 小学校教諭をめざすものとして必要な知識・技能・意欲・態度、問題解決能力等の指導力を身に付ける。			◎	○				○	
17UEDK4542	施設経営論	4	福祉制度の原点は生活保護制度と児童福祉であるといわれている。その原点にある、権利擁護・自己実現・自立を支援する福祉を追求し、またその専門職はどうあるべきなのかを考える。また、現下の福祉ニーズの背景について深く理解することを目的とする。	福祉の概念が、生活保障から人権・権利擁護へと変わり、行政措置から利用・契約へと制度改革が進められたことを理解・認識するとともに、それをマネージメントする専門性が求められていることを理解する。			◎						
17UEDK4544	家庭支援論演習	4	社会生活で最初にして最期までかかわる最小集団である家族とそれを包含する場である家庭のなかで、こどもの成長・発達過程とのかかわりについて探求する。それを行うにあたり、家族成員間での意識・行動や問題発生の機序と、それらに対する制度やこども子育て支援の方策等について理解を深めてゆく。	家庭とそこに生じた問題についての知識を修得するとともに、支援にかかわる制度や諸機関あるいは種々の団体・個人が行うことも子育て支援の役割について、情報収集・検索をし、紹介するに至る知識・技術の修得や質疑応答の態度などを養う。			○	◎					